

「中津川市子ども・子育て支援事業計画にかかる子ども調査票に対する意見、質問と回答

問	意見・質問	回答
問6	通学状況について、「ほとんど」「たまに」「よく」という表現をわかりやすくしてほしい。	回答に「1年間で〇日くらい」、「ひと月に〇日くらい」と具体的な日数の表現を加えました。
問8・9	「満足」が「1」、「不満」が「4」となっており、問24と逆の尺度になっている。合わせたほうがわかりやすのでは。	学校生活・家庭生活において、個別の項目を無くし、それぞれ全体でどう感じるかを問う質問に変更しました。 また回答を「満足していない」を「1」、から「満足している」を「5」とし、1から5の数字で選択するように変更しました。
問8・9	学校生活や家庭生活において「満足」、「不満」と感じるのは選択肢が他にもあるのでは。	
問8・9	極論「そう思う」と「そう思わない」になってしまうのでは。回答の選択肢に「答えたくない」や「どちらともいえない」を追加してはどうか。	
問10・11	「なやんだり、こまっていること」は「なやんだり、こまったりしていること」では。	修正しました。
問11	相談できる選択肢に「学園の先生」を加えてほしい。（麦の穂学園の児童生徒への配慮）	選択肢に加えました。
問12	「①自分の部屋」がない子はどのように回答するのか。	選択肢に「あてはまるものはない、わからない」を加えました。
問14	「いじめ」について踏み込んで聞いてみるのもいじめ対策では。	問10の「なやんだり、こまったりしていること」の間の選択肢に追加しました。
問14	不登校についての問も必要では。	問6で回答できるよう選択肢を加えました。
問16ー1	インターネット利用の際の機器の選択肢に「TV」がない。インターネットを介して見ている子どもも多いのでは。	選択肢に「テレビ」を加えました。
問12～15・16-5	極論「そう思う」と「そう思わない」になってしまうのでは。回答の選択肢に「答えたくない」や「どちらともいえない」を追加してはどうか。	問12は選択肢に「あてはまるものはない、わからない」を加えました。問13～15・16-5は選択肢に「どちらともいえない」を加えました。
問18・19	「答えたくない」の選択肢があると良い。	選択肢に加えました。
問18・19	クラスでの状況・嫌なことを見たかどうかなど必要では。	問7の「学校生活であてはまるもの」の間の選択肢に追加しました。

「中津川市子ども・子育て支援事業計画にかかる子ども調査票に対する意見、質問と回答

問	意見・質問	回答
問18・19・20	なぜそのようなことが起こるのかという問があるの良いのでは。その問いに対する気持ちがどうかなど。	問18・19は虐待に関する調査です。虐待に関しては保護者への調査で「なぜ虐待が起こると思うか」を聴きます。問20のお手伝いの問に関しては、問20-1以降の問で現状と希望の支援について聴いています。
問20	注釈部分（※のところ）の「お世話」の説明の文章に違和感がある。	「『お世話』とは、本来大人がすべき家事や家族の生活のためのお手伝いのことです」としました。
問20	シングルマザーが多いためのか。	問20はヤングケアラーに係る問です。お手伝い＝ヤングケアラーではないですが、どの程度家のことを行っていて、生活に影響しているかを聴いています。また、そのことを悩んでいたりと、相談したいと感じているかで、お手伝いの程度なのか、お手伝いを超えているのかで現状を把握する問としています。ヤングケアラーの説明に関しては、例を説明に追加しました。
ヤングケアラー部分	アンケート内の説明ではわかりづらいのでは。きょうだいの世話や病気の家族に代わることはどの家庭でもあること。映像などで説明があると分かりやすい。その子どもだけが背負うことと、家族が支えあうことの違いを理解できないと、家の手伝い全てがヤングケアラーになってしまうのでは。	
全体	子どもへのアンケート実施を保護者へお知らせする文書はあるか。	この調査は子どもの視点を尊重し、その意見を聴くことを目的としておりますので、保護者へのお知らせ文書はありません。ご了承ください。
全体	生活の様子問が多い。子どもの考えや希望がくみ取れる問があっても良いのでは。	「大人になったときどのようになっているか（どうなっていたいか）」の問いを追加し、さらに自由意見として希望を記入してもらうようにしました。
全体	食育の観点から朝食を摂っているか、また放課後の過ごし方の問が必要では。	朝食に関しては、学校で毎年調査を行っており、計画に必要な際にデータを提供していただけるので、今回の子どもの調査票では聴いておりません。放課後の過ごし方については、保護者への調査票で聴いています。
全体	文中のふりがながあるものとないものがあるが、基準や意味があるか。	調査票が小学5年生と中学2年生で同じものなので、小学5年生でも分かるよう仮名をふっています。
全体	小学5年生と中学2年生できょうだいの場合、一つの世帯で2人が調査に答えることになるのか。	その通りです。
全体	学校生活、家庭生活、ネット利用、ヤングケアラーなど広い範囲の問になっていて良い。さらに地域とのかかわりや先生とのかかわりに関する問があっても良いのでは。	地域や先生とのかかわりは、自分が支援を求めたいときに、相談できるか、また普段から会話があるなどの問で、かかわりをうかがっています。
全体		1から5で満足度を聞く選択肢にいて、Web調査で矢印をつかっの表記ができないことから、1から5の数字を選ぶよう修正いたしました。